

## ニックネーム

JJ1SXA 池

昔言われていた、仇名、渾名、綽名などと言う言葉に妙に郷愁を感じますが、最近では、ニックネームなどと洒落た呼び方が一般的のようです。

CW通信では、ハンドルと言うのも一般的ですね、これは、アメリカの西部開拓史華やかかなりし頃に、どんどん伸びていく線路と共に、遙かかなたの駅間を有線電信でつなぎ、電鍵をカタカタと叩きまくる通信手が、名前をニックネームで表し、操作する人と言う意味で、通信手の名前をハンドルと言うようになったそうです。

今は、普段の生活でも勿論使われていますが、それよりもインターネットの世界の方がより多くニックネームが使われているようです。

私は、良く「池ちゃん」と呼ばれる事が多かったようですが、子供の頃は、「アキちゃん」と呼ばれました。

フルネームは、ヒロアキですから、「ヒロ」とか「ヒロちゃん」と呼ばれれば良いようなものですが、どういう訳か、名前の下の方と呼ばれたのです。

今は、ご存知「Aさん」で通りますが、これはニックネームと言うより略称でしょうか。

OXY局は、「Oちゃん」、「O茶ん」、最近は、「oo\_cyan」ですね。

何れにしても、自分で名乗るか、他人が命名して、ニックネームが決まるようです。

他人の命名するニックネームには、親密さが込められているもの、侮蔑の感があるもの、ほとんど意味の無いもの等色々です。

話し変わって、最近インターネットの方では、入れ代わり立ち代わり、それも悪質なウイルスが世間を騒がせています。

ウイルスの作者は、違法なことをしているので、わざわざ名前はつけてはいないだろうし、ウイルスの名前はどうなっているのかと疑問に思っていたら、これはCAROという機関が、ウイルスのプログラムコードに含まれる特長的な文字列から命名しているようです、これも1種のニックネームになるのでしょうか。

CAROは、**Computer Anti-virus Research Organization** の略で、事務局やホームページを持たず、活動は非公開ながら、世界最高のウイルス研究機関だそうです。

ウイルス対策ソフトメーカーも、CAROのつけた名前に合わせているようで、ウイルスの名前が統一されているのですね。